

行政評価シート

事務事業名	二本松地区上水道第六次拡張事業		事業開始年度	平成4年度	
担当部	建設部	担当課	上下水道課	担当係	水道施設係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(3) 自然と共生し環境に配慮したまちをつくります
施策 (手法)	①水の安定供給
取組事項	I. 水道施設の整備と上質な水の提供

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	上水道の給水により住民の生活と福祉の向上、地域の活性化及び発展等を図るため、上水道の施設整備を進め、安全で安心な水の安定供給を図る。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容 (評価対象年度)	平成30年度以降 導水管布設 L=400m、舗装復旧 L=450m 【全体事業費】(認可期間 H4~R2) 12,463,968千円 送配水管布設 L=69,184m、取水施設 一式、導水施設 一式、配水池施設 一式
------------------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	事業費			指標の単位	千円
指標の説明	各年度事業費(H28~R2合計計画事業費:114,193千円)				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	40,987	34,288	118	400	38,400
実績値	40,987	34,288	118	400	38,400
達成度(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	平成28~令和2年度の期間での事業計画における各年度の事業費を目標値とし、実績額により達成度を算出している。上記期間中、導水管布設等の工事を行い、予定どおりの進捗状況であった。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	令和2年度に事業完了予定。

行政評価シート

事務事業名	安達地区上水道第六次拡張事業(上川崎地区)	事業開始年度	平成10年度
担当部	建設部	担当課	上下水道課
		担当係	水道施設係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(3) 自然と共生し環境に配慮したまちをつくります
施策 (手法)	①水の安定供給
取組事項	I. 水道施設の整備と上質な水の提供

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	福島地方水道用水供給企業団から受水した水を、長期的に安定した給水を行うため、上水道の施設整備を進め、安全で安心な水の安定供給を図る。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容 (評価対象年度)	平成30年度以降 舗装復旧 L=4,775m 【全体事業費】(認可期間 H10~H32) 3,037,998千円 配水池 2基、配水管布設 L=56,255m
------------------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	事業費			指標の単位	千円
指標の説明	各年度事業費(H28~H30合計計画事業費:161,679千円)				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	43,225	63,903	54,551		
実績値	43,225	63,903	54,551		
達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	平成28~平成30年度までの事業計画における各年度の事業費を目標値とし、実績額により達成度を算出している。上記期間中、舗装復旧等の工事を行い、予定どおりの進捗状況であった。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	完了
【説明】	平成30年度に予定どおり事業を完了した。

行政評価シート

事務事業名	東和簡易水道未普及地域解消事業		事業開始年度	平成19年度	
担当部	建設部	担当課	上下水道課	担当係	水道施設係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(3) 自然と共生し環境に配慮したまちをつくります
施策 (手法)	①水の安定供給
取組事項	I. 水道施設の整備と上質な水の提供

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	水道未普及地域の早期解消を図るため、上水道の施設整備を進め、安全で安心な水の安定供給を図る。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容 (評価対象年度)	平成30年度以降 配水管布設 L=4,448m、水管橋設置 N=2基、舗装復旧 L=6,125m、設計業務 一式【全体事業費】(認可期間 H19~R3) 1,541,963千円 送配水施設 L=23,1m、ポンプ場 4箇所、配水池 2池
------------------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	事業費			指標の単位	千円
指標の説明	各年度事業費(H28~R2合計計画事業費:697,587千円)				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	127,455	154,002	205,993	107,602	102,535
実績値	127,455	154,002	205,993	107,602	102,535
達成度(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	平成28~令和2年度の期間での事業計画における各年度の事業費を目標値とし、実績額により達成度を算出している。上記期間中、配水管布設等の工事を行い、予定どおりの進捗状況であった。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	令和3年度の事業完了を目指し、施設整備を計画的に進める。

行政評価シート

事務事業名	二本松地域施設改良事業			事業開始年度	
担当部	建設部	担当課	上下水道課	担当係	水道施設係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(3) 自然と共生し環境に配慮したまちをつくります
施策 (手法)	①水の安定供給
取組事項	I. 水道施設の整備と上質な水の提供

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	上水道は昭和4年から供用開始し、水道施設の老朽化が進み改修が必要な時期となっている。また、改良が必要な施設もあるため、上水道施設を計画的に更新し、安全で安心な水の安定供給を図る。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容 (評価対象年度)	平成30年度以降 老朽管等布設替 L=2,133m、舗装復旧 L=3,023m、計装改修 一式、設計業務 一式【全体事業費】 3,022,000千円 老朽管等布設替、配水管・水管橋の耐震化、緊急遮断弁設置、計装設備改修、減圧槽耐震化、導水管複線化等
------------------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	事業費			指標の単位	千円
指標の説明	各年度事業費(H28～R2合計計画事業費:928,358千円)				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	144,349	96,728	122,841	231,786	332,654
実績値	144,349	96,728	122,841	231,786	332,654
達成度(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	平成28～令和2年度までの事業計画における各年度の事業費を目標値とし、実績額により達成度を算出している。上記期間中、老朽管布設替等の工事を行い、予定どおりの進捗状況であった。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	老朽施設等更新整備を計画的に進める。

行政評価シート

事務事業名	安達地域施設改良事業			事業開始年度	平成22年
担当部	建設部	担当課	上下水道課	担当係	水道施設係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(3) 自然と共生し環境に配慮したまちをつくります
施策 (手法)	①水の安定供給
取組事項	I. 水道施設の整備と上質な水の提供

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	石綿セメント管が点在していることから、今後の漏水箇所の増加などにより有収率の低下や安定した水道水の供給が懸念される。このようなことから、石綿セメント管更新等の上水道施設整備を進め、安全で安心な水の安定供給を図る。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容 (評価対象年度)	平成30年度以降 石綿配水管布設替 L=2,775m、舗装復旧 L=3,954m、設計業務 一式 【全体事業費】(H22~R3) 696,000千円 石綿セメント管更新 L=12,400m
------------------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	事業費			指標の単位	千円
指標の説明	各年度事業費(H28~R2合計計画事業費:409,662千円)				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	95,010	61,878	98,174	94,975	59,625
実績値	95,010	61,878	98,174	94,975	59,625
達成度(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	平成28~令和2年度までの事業計画における各年度の事業費を目標値とし、実績額により達成度を算出している。上記期間中、石綿配水管布設替等の工事を行い、予定どおりの進捗状況であった。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	令和3年度の事業完了を目指し、施設整備を計画的に進める。

行政評価シート

事務事業名	水道料金改定			事業開始年度	
担当部	建設部	担当課	上下水道課	担当係	水道管理係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(3) 自然と共生し環境に配慮したまちをつくります
施策 (手法)	①水の安定供給
取組事項	Ⅱ. 水道事業の健全な運営

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	効率的な経営のもと適正な原価を基礎として、企業会計の健全な運営を確保すべく、上水道区域の料金統一をも含めた検討を行う。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容 (評価対象年度)	現行料金体系での財政計画の策定 水道事業を理解していただくため水道施設(高平配水場)一般公開
------------------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	料金体系を構築するにあたり指標設定はなじまない			指標の単位	無
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績値					
達成度(%)					
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	評価結果なし				
【費用対効果】	費用なし				
【説明】	平成29年度より、広く水道事業を理解していただくため、水道週間における市広報誌への記事掲載や水道施設(高平配水場)の一般公開を実施したが、料金改定(統一)へ向けた具体的な検討はなされていない。				所管課評価
					—

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	社会情勢やコロナ禍における地域経済状況等を考慮しつつ、令和5年度料金改定を目途に、上水道区域の料金統一をも含めた検討を行う。